

岡安盛男の経済指標の制し方

目次

ファンダメンタルズ分析は経済指標から……………	2ページ
経済指標の数字をどう見るか……………	3ページ
多くの経済指標は発表時に織り込み済み？……………	3ページ
指標発表前と発表後に相場はどう動くか……………	4ページ
お問合せ先……………	5ページ

ファンダメンタルズ分析は経済指標から

ファンダメンタルズとは、一般に「経済の基礎的な要因」という意味になりますが、それらの多くは GDP や貿易収支、失業率といった様々な経済指標で表すことができます。

為替相場に影響する外部要因として、最も注目されるもののひとつが経済指標です。その中でも**米国の経済指標の影響が最も大きく**、米国指標だけ見ていけば、市場の動向をほとんどつかむことができるほどです。

しかし、為替市場において他の市場参加者より一歩でも前を歩こうとするのであれば、他の国の経済や金融政策の動向も併せて見る必要があります。

特に、近年は**中国の経済指標**に市場の注目が集まっています。

市場における重要な指標というのはその時代により変化し、また新たなものが現れます。浅くてもいいから広く知ることがトレーダーにとって必要であり、それがまたトレードの魅力でもあります。

主な経済指標は、多くの金融機関や経済シンクタンクなどから前もって予想値が発表されます。しかし、その市場予想が全体に広がる時点では、プロの市場参加者の間では既にポジションの仕込みが終わっているなど、実は指標発表前に戦いは始まっているのです。

注目される経済指標の予想値と結果の例(2019年5月)

日付	日本時間	国	指標	結果	予想	前回
5/9	10:30	CN	4月・生産者物価指数(前月比)	0.9%	0.6%	0.4%
5/10	21:30	US	4月・消費者物価指数(前月比)	0.1%	0.2%	0.1%
5/15	21:30	US	4月・小売売上高(前月比)	-0.2%	0.2%	1.6%
5/21	23:00	US	4月・中古住宅販売件数	519万件	535万件	521万件

各国の重要と思われる経済指標は、その発表の1週間前には大体予想が出そろいます。FX業者などが発表する数値のほとんどは、ブルームバーグやロイターなどの情報ベンダーから発表されたものです。

これら情報ベンダーの予想数値は、各大手金融機関のエコノミストが発表する数値の幾つかを集めた中心値になります。

予想数値は発表直前まで変更されることが多いため、こまめにチェックする必要があります。

各国の主要な指標のほとんどは、発表の日程と時間が決まっています。

重要な指標ほど市場は注目し、その発表前後では値動きが激しくなることがあります。

為替市場では値動きがほとんどなければ利益になりませんので、

値動きの活発な時間帯を狙うことが基本になります。

まれに発表時刻をフライングして、予定より早く発表されることがありますので気をつけましょう。

経済指標の数字をどう見るか

経済指標の発表は市場参加者にとって相場を左右する重要なイベントですが、政府など当局にとっても今後の政策決定のために重要なものです。したがって、発表された数字が市場参加者のポジションに与える影響もさることながら、今後の政策にどう影響するのかなど、先々を考えて反応することも重要です。

経済指標の見方にはポイントがいくつかあります。

それは**数字を前月比(前期比)で見るのか、前年比で見るのか**ということです。

これは市場の状況にもよります。

例えば、市場がリーマンショックの前のレベルにまで戻るのかどうかに注目している場合は、前年比が注目される時があります。

前年比で見る必要がある指標は、基本的に前月比と前年比の数値が必ず同時に発表されます。

多くの経済指標は発表時に織り込み済み？

さて、経済指標はいつ、どこでどう反応するのでしょうか？

前述したように指標の予想値は一斉に同時刻に発表されるわけではありません。

その数字は少しずつ市場に浸透していき、**いつの間にかその数値が当然のように広がって織り込んでいる**ことがよく見られます。

例えば、ほとんどの金融機関のエコノミストが、次回のFOMCで量的緩和を縮小すると発表したとします。

しかし市場では前回のFOMCや複数のFOMCメンバーの発言などをベースに、既に量的緩和の縮小実施を予想している場合がほとんどです。

その為、発表されたとしても、市場では織り込み済みという状況が多く見られます。その予想が広がった時点では、早くも全般的にドルの買いが進んでいることが多く、その結果底堅い動きが見られるはずですが。

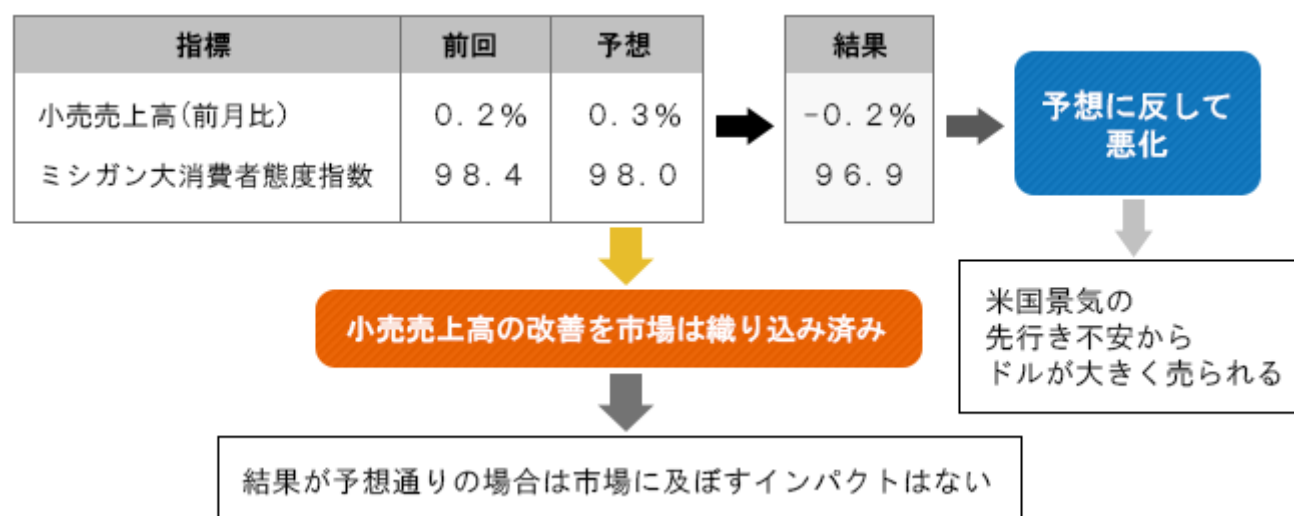
このように、**予想が広がった時点では既に織り込み済みと考えるのが基本**です。

しかし、これが常に当てはまるとは言えません。

市場は何%織り込み済みかといったような実際に「数字」で表すことができないため、視覚でつかむことが大切です。

重要なことは、市場が実態以上に織り込み済みなのか、あるいはまだ十分に織り込まれていないのか、ということです。それを読み取ることがデイトレの勝負の分かれ道になります。

指標発表時の動きの例(2019年4月・米国指標)



指標発表前と発表後に相場はどう動くか

米国の主な経済指標は、**22時30分**と**24時**(夏時間では21時30分と23時)に発表されます。

特に重要な指標は金曜日に発表されるため、週末ということもあってポジション調整の動きが活発になります。

そういう時は、織り込み済みかどうかを確かめることができます。

重要な指標であるほど、発表日の前日あたりから調整の動きが見られます。

一般的に買われすぎているときは売り戻し、売られすぎているときは買い戻しの動きが活発にみられるようになります。

そして、発表当日の東京市場から欧州市場に移る時間帯などは、

ポジションの振り落としを狙った投機的な動きも加わり、売り買いが交錯する場面もあります。

ただ、指標が発表される1~2時間前あたりから流動性が低くなり、値動きは極端に小さくなります。この時市場の短期的ポジションはかなりニュートラルに近くなっていると見てよいでしょう。

ただ、一部の市場参加者では、あえてギャンブル的な動きをするような場合や、発表と同時に力づくで自分の有利な方向に誘導しようとする動きも見られます。

これは、**市場が最初に動いた方向についていきやすい**という習性を利用しようとするものですが、このような動きはすぐに戻されることが多く、追いかけていくとやられることがあるので注意が必要です。

相場というものは、時間が経てば行くべき方向へと最後は向かうもので、投機的なものも少し遠回りさせるだけと考えましょう。

また、時には発表された指標が予想を上回る好数字で合った場合でも、既に織り込まれすぎた場合は、それ以上買われずに逆に売られる場合もあります。発表前にじっくりと方向性を確かめた上で取引を行うことをお勧めします。

【投資に係るリスクおよび手数料について】

当商品は、著者と同じような利益が出ることを保証するものではありません。

FXは価格変動リスクを伴うため、場合によっては損失を被る可能性があります。

また、FXには取引業者の売買手数料がかかります。

実際の投資に関しては、自己責任において行ってくださいますようお願いいたします。

▼お問い合わせ先（株式会社 投研）

morio-support@touken.jp（24時間受付、3営業日以内の返信）